

媚薬 (1958)

BELL, BOOK AND CANDLE

メディア 映画

ジャンル ファンタジー ロマンس コメディ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 103分

初公開日 1959/04/03

公開情報 C O L

【解説】

J・V・ドルーテンのファンタスティックな同名舞台劇を、R・クワインが映画化したもので、クワインの「殺人者はバッヂをつけていた」(54)でコロムビアのお抱えスターとなったK・ノヴァク（当時、クワインと浮名があった）が主演の魔女に扮する。現代のニューヨーク。美術店を経営するギリアン（ノヴァク）は実は魔女。彼女は階上の出版屋シェパード（スチュワート）に恋をし、魔術をもって彼の心を射止める。だが、現代の魔女に関する研究書を執筆中のシドニー（コヴァックス）が現れた事から、ギリアンはシェパードに魔法をかけ出版中止にさせようとするが……。現代に生きる恋する魔女を、ノヴァクがその妖しい魅力で好演。その叔母E・ランチェスターや、弟J・レモンなど、コメディ・リリーフの顔ぶれも楽しい限り。演出的に工夫の見られる作品ではないが、ストーリー展開と、キャストイングの妙味、それにJ・W・ハウの捉えた美しいNYの撮影が見事な娯楽作品である。

【クレジット】

監督	リチャード・クワイン	Richard Quine
製作	ジュリアン・ブロースタイン	Julian Blaustein
原作	ジョン・ヴァン・ドルーテン	John van Druten
脚本	ダニエル・タラダッシュ	Daniel Taradash
撮影	ジェームズ・ウォン・ハウ	James Wong Howe
音楽	ジョージ・ダニング	George Duning
出演	ジェームズ・スチュワート	James Stewart
	キム・ノヴァク	Kim Novak
	ジャック・レモン	Jack Lemmon
	アーニー・コヴァックス	Ernie Kovacs
	エルザ・ランチェスター	Elsa Lanchester
	ハーミオン・ジンゴールド	Hermione Gingold
	ジャニス・ルール	Janice Rule